

就任のごあいさつ



新理事長
山本 徹

このたび、森信前理事長の後任として、理事長に就任することになりましたので、一言ごあいさつ申し上げます。

ご承知のとおり、本年4月から新たな「後期高齢者医療制度」「特定健診・特定保健指導」がスタートし、健保組合は大きな転換期をむかえており、このような重要な時期に理事長の任に就き、その責任の重大さに決意を新たにしているところです。

当健保組合は、昭和51年に設立され、今日まで順調な事業運営が図られてきましたことは、歴代理事長をはじめ役員各位のご努力と、組合員みなさまのご理解とご協力の賜物と深く敬意を表するものです。

病气やけがに対する保険給付をは

じめとした健保組合の事業は、組合員とその家族の生活にもかかわりが深く、その果たす役割はますます重要性を帯びています。反面、急速に進展する少子高齢化の影響は、医療費の増加傾向を押し上げることなどから、健保組合を取り巻く環境は今後さらに厳しくなると予想されています。

健康を通じて、組合員の福祉の向上に努めるためには、健保組合の健全な運営が不可欠であり、みなさまのご指導のもと微力ではありますが最善を尽くしてまいる所存です。で、森信前理事長同様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。私の就任のごあいさつとさせていただきます。

退任のごあいさつ



前理事長
森信 昶二

このたび、当健保組合の理事長を退任いたすことになりました。平成7年に理事長に就任以来、理事および議員、健保職員の方々ならびに被保険者、ご家族のみなさまのご理解・ご協力をいただき、大過なく務めることができました。ここに厚くお礼申し上げます。

さて、医療制度改革関連法が順次施行され、本年4月からは新たな後期高齢者医療制度が創設され、拠出金に代わって高齢者支援金・納付金の負担が拠出金以上に増大し、少子高齢化にともなう医療費の高騰により健保組合の財政状況はたいへん厳しい状況下にあります。

幸い当健保組合はこれまで堅実に推移し、みなさまの健康管理と福祉のお手伝いをしてまいりましたが、必ずしも楽観を許しません。

今後、厳しい諸情勢のなかで健保組合の運営には一段と創意工夫が要求されることになるでしょう。みなさまにおかれましても健康の自己管理の大切さを再認識されることを願ってやみません。

なにとぞ、新理事長のもと、一致協力して当健保組合の健全なる発展にお力添えいただきますようお願い申し上げます。退任のごあいさつといたします。